

北九州工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	体育特論	
科目基礎情報							
科目番号		0057		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		生産デザイン工学科（機械創造システムコース）		対象学年	4		
開設期		前期・後期		週時間数	4		
教科書/教材		教養としてのスポーツ・身体文化、大修館書店					
担当教員		濱田 臣二					
到達目標							
・ 武道とスポーツについて歴史的観点からそれらの特徴を理解する。 ・ 最新のスポーツ科学に基づいた知識を深め、実際の場面で活用できるようにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		健康についての最新の知識を理解し、運動の必要性について回答できる。		運動の必要性医について、自分の考えを回答できる。		健康についての理解が不足し、運動の重要性について理解できない。	
評価項目2		武道とスポーツについて、その相違点と共通点を明確に回答できる。		武道とスポーツについて、それらの違いを回答できる。		武道とスポーツについて、それらの特徴を理解できない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		スポーツ・武道・体育に関する最新の理論および研究成果から、生涯体育に通じる武道やスポーツの科学的理論を理解させるとともに、健康やトレーニングに関する実習によって合理的に健康・体力の増進を図る資質や能力を育てる。					
授業の進め方・方法		通常は講義・演習（発表）を主として、理解を深めるために必要に応じて実習を行う。 授業内容に関する課題についてレポートを提出させる。					
注意点		実習の際は運動ができるウェア・シューズを準備すること。 貴重品の管理は各自で行うこと。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。		3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。		3	
				目標の実現に向けて計画ができる。		3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。		3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。		3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。		3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。		3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。		3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。		3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。		3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。		3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。		3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている		3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。		3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。		3	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	5	0	5	0	0	100
基礎的能力	90	5	0	5	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0